

福知山AtoZシリーズ
「フクユメ A to Z」

発行日 2019年2月28日
制作 倉寿和 中田愛 伊庭弥広
協力者 三國貴史 辻井貴之 川上晃弘 佐々井飛矢文
吉田俊彦 瀬尾浩一郎 松山典章 井上智行
岸本範義 兵井真衣 松井裕督 富田満
谷内雅範 神崎悠哉 飛田一 野々村俊
協力 塩見直紀（福知山公立大学特任准教授）
浅井ゆうみ（福知山公立大学2回生 デザイン担当）
発行 福知山AtoZ研究所（福知山公立大学 塩見直紀研究室内）
090-6249-6539（塩見直紀）
〒620-0886 京都府福知山市宇掘3370
問合せ フクユメ実行委員会 代表倉 toshi.kura78@gmail.com

この冊子は京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金を活用して制作しました。

フクユメ AtoZ



MESSAGE

「フクユメ-福知の人の夢語り-」とは、福知山に縁のある方をゲストスピーカーにお呼びして、月に1回、夢や目標について語る会のことです。

このフクユメは、私が大学時代に所属していた、チームノーマライゼーションという団体で行われていた「ユメガタリ」を福知山でやってみたいという思いから始まりました。福知山に訪れたばかりの頃はその思いを持っていたものの、中々動き出すことができずにいました。

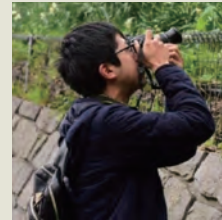
そんな時に大学、職場の先輩でもある2人にこの思いを伝えたところ「ええやん！やろや」と背中を押されて、2018年2月にスタートしました。

フクユメ AtoZ は、第8回フクユメの参加者が話した夢から生まれました。普段の生活で中々、夢や目標を意識することが難しいと思います。このフクユメ AtoZ を見て、夢や目標を持つきっかけや、元気になっていただけたら幸いです。

フクユメは、夢や目標を持つ人やこれから持ちたいと思う人が応援し合えるプラットフォームを目指してこれからも語り合っていきたいと思います。

フクユメ実行委員会代表 倉 寿和

実行委員会PROFILE



倉 寿和（くら としかず）

1994年7月8日。京都府長岡京市出身。
龍谷大学政策学部卒業。福知山市役所勤務。
大学時代に所属していたチームノーマライゼーションの「ユメガタリ」の取り組みが福知山でできるのは嬉しい限りです。これからも夢や目標を語り合える場を続けていきたいです。そして!ぜひ、あなたの夢や目標を聞かせてください!



中田 愛（なかた あい）

1992年4月23日。滋賀県大津市出身。
龍谷大学政策学部卒業。福知山市役所勤務。
「ええやんやろうや」と言ったのは私です。誰かの背中を押して一緒に伴走できる人でありたいと思います。



伊庭 弥広（いば やひろ）

1993年3月8日生。滋賀県高島市出身。
龍谷大学政策学部政策学科卒。福知山市役所在勤。
日々の仕事や暮らしのなかで、本当にこのままでいいのかな?とモヤモヤされたときは夢や目標を見つめなおすチャンスだと思います。この冊子もそのきっかけや発想の一助になれば幸いです。

CONTENTS

- 新しい
- A 三國貴史さん**
母校に同級生を集める
- B 辻井貴之さん**
中小企業のドクター
- C 川上晃弘さん**
毒吐き全国へ
- D 佐々井飛矢文さん**
毎日イベントがあるまち福知山
- E 吉田俊彦さん**
航空機のライセンスを取得して自分で空を飛ぶ
- F 瀬尾浩一郎さん**
妻とグランドキャニオンを歩く
- G 松山典章さん**
全国高校生マイプロジェクトを関西に広める
- H 中田愛さん**
アイデンティティを大切にしたい
- I 伊庭弥広さん**
事業者だらけの福知山
- J 吉田俊彦さん**
言葉の技術を高めて交流
- K 松山典章さん**
地域に関わり続ける
- L 倉寿和さん**
モットーを見つける
- M 倉寿和さん**
- N 日本一の大学に
岸本範義さん**
オシャレキャンパー
- O 井上智行さん**
プロフェッショナルの流儀に出たい
- P 野々村俊さん**
問いつづけたい
- Q 伊庭弥広さん**
旅、生涯、旅行を楽しむ
- R 兵井真衣さん**
社会の隙間をおうめします
- S 松井裕督さん**
朝来と福知山をSNSで勝手に姉妹都市に
- T 富田満さん**
宇宙旅行
- U 谷内雅範さん**
Visit100か国行く
- V 神崎悠哉さん**
福祉業界[welfare]の活性化
- W 谷内雅範さん**
自分と会った人の可能性と価値観を広げる
- X 神崎悠哉さん**
夜久野発東京浸透
- Y 飛田一さん**
全国操法大会
- Z 野々村俊さん**



新しい店が、誕生する。起業家を応援し、老舗と共存共栄できる街。福知山。

新しい



同世代が集まり、出逢い、旅立つ学校。たくさんのお出逢いとサヨナラが、今の私の道標となっています。社会人になると同級生に会う機会は減るものですが、母校を中心に自己形成の時期を共有できた仲間が集う機会・場を増やしていきたいです。

母校に同級生を集める



地域経済活性化のために、地域の企業の課題を掘り起こし、その課題にあった解決策を提案すること。正に中小企業のドクターに私はなりたい。地域と企業を知っている私にしか出来ないこの使命を成し遂げたい。

中小企業のドクター

5



佐々井飛矢文

毒を吐く……と言うのは、実際は「息抜き」の強調、「愚痴こぼし」の類。移住した、または昔から住んでいる、さまざまな人が寄り集まって、今暮らしている場所、物事への不満や文句を吐き出そうという場です。前向きでも後ろ向きでもよし、話せる相手がいることが一番よいことですね。

毒吐き全国へ

地域活性化に必要なことは、自分の目指すことに向かって確実に行動することと、その目標に向かって共感し、同じ歩幅で歩いてくれる仲間を持つことです。そのためには、その場を用意することが1番の近道であり、魅力の発信、場の提供、協働が多く、そして続くことが地域活性化につながるのです。

毎日イベントがあるまち福知山

初めてのフライトは社会人になってから、高鳴るエンジン、感じる重力、青く澄んだ空、運航に関わる人達のチームワーク…120分間の旅の全てが私を空の虜にしました。今から職業パイロットを目指すのは難しいけれど、自家用であれば大丈夫。風を読んで機体を操って、必ず大空を自分の操縦で飛びます。

航空機のライセンスを取得して自分で空を飛ぶ

ある時ふっと広大な空間を彼女と手をつないで歩きたい。それはグランドキャニオンだと思いました。時間があればすぐにも行けそうな話ですが、そういうことでもなく、これまでできなかったことができる気がする。そんな想いが時折浮かび、そのずっと向こう側にこの夢が叶う世界があるのだと思います。

妻とグランドキャニオンを歩く

全国高校生マイプロジェクトとは、高校生が地域や身の周りの課題などをテーマにプロジェクトを立ち上げ、実行することを通じて学ぶ課題解決型実習です。取り組みを関西で広げ、一歩踏み出す勇気を持った人財を育成します。

全国高校生マイプロジェクトを関西に広める

自分や家族、他人、街…多様な「個性」を大切にしたいですし、大切にしたいです。特に、福知山の個性的な歴史、文化、伝統、伝説、街なみなどを大切に次代につないでいきたいです。

アイデンティティを大切にしたい

6



吉田俊彦



瀬尾浩一郎



松山典章



中田愛



伊藤弥広



吉田俊彦



松山典章



倉寿和



倉寿和



岸本範義



井上智行

自分の夢を叶えるために、努力と勇気を持ち、人生を賭けて勝負する。様々な荒波を乗り越えて多くの事業者は未来を築いている。その未来は、同じ夢を持つ人と求める人を支える。そんな人が溢れかえる町は、きっと地域も未来も明るく照らす。

事業者だらけの福知山

技術を高めるとは高度な言葉を使うということではなく、分かりやすく、優しい雰囲気のある言葉を選択し、学べる喜び、優しさにあふれた気持ちになれることを目指す交流です。街の未来を変えるのが人であるなら、人が最も影響を受けるのがこの言葉です。

言葉の技術を高めて交流

大学時代から関わり出して、早6年。地域で活動をして、色々な出会いや縁にも恵まれ、何もなかった自分を成長させてくれた地域。これから仕事や家庭のことで忙しくなっても言い訳せず、地域に関わり続けたい。そして自分が地域を楽しむことから地域活性化、地域創生が始まると信じて、今日も地域へ。

地域に関わり続ける

フクユメを始めた自分の中の一つの思い。それは自分にはモットーがないこと。そして、どこに進めばいいか分からないという不安から。フクユメで語られる夢や目標を聴いていく中で自分のモットーを見つけて、人生を歩んでいきたい。

モットーを見つける

北近畿地域に本拠を置く唯一の大学である福知山公立大学を、日本一の大学にしたいと考えています。「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」という基本理念のもと、「知の拠点」のひとつとして、地域で育んでいきたいと感じています。

日本一の大学に

キャンプに行き、色々なサイトを見ると次のキャンプに向けて新しいギアや、新しいサイトコーディネートが試してみたくなり、どんどんキャンプに行きたくなくなるし、新しいギアが欲しくなる。外で飲むビールは美味しいし、開放的な空間でのんびりできる時間はキャンプだからこそ。常にアンテナを高く、おしゃれキャンパーに関する情報収集の毎日が非常に楽しい。

おしゃれキャンパー



野々村俊

伊庭弥広



兵井真衣

松井裕督



富田満

谷内雅範

自分になにができるかはわからんけど、少なくともあの人たちは「これくらいでええやろ」って思いながら仕事してない。とりあえずそれだけは肝に銘じて、今週も、見よ。このままじゃあかん。もっとできることがある。必要なのは覚悟。あと一歩だけ前に進もう。

プロフェッショナルの流儀に出たい

ただ漫然と働いて、暮らしていくんじゃないかって、「夢」や「目標」って何なのか、そのために何をしたらいいのか問いつづけて、常に情熱、覚悟をもって暮らし、働いて生きていきたいと思っています。また、フクメを通じて周りにも問いつづけていきたいです。「あなたの夢はなんですか？」

問いつづけたい

ある時一人旅で訪れた、ハワイ州カウアイ島。現地で出会った人に「意志があれば何歳になっても、夢は叶えられる。」と言われた言葉が忘れられません。旅先での多様な人、文化、価値観との出会いは、「素敵な気付き」を与えてくれるし、そんな旅を、何歳になってもずっと続けていきたいと考えています。

旅、生涯、旅行を楽しむ

シャカイのスキマ…お埋めします。ある芸術家からの一言が今では僕のコンセプトとなった。「人と人、人と組織、人と地域、人と制度、そして、人と社会」そのすべての隙間が無い未来の世界を創造する。それが僕の夢…だけでなく使命であり責務である。あえて…夢を夢で終わらせないために…。

社会の隙間をおうめします

姉妹都市は、両首長による提携書や議会の承認などが条件とされます。しかし、SNS上ではこの条件を地域ハッシュタグで実現できます。朝来市と福知山市の地域ハッシュタグを同時に活用して自然な交流を生み出し、その交流の輪を広げて、夢のような姉妹都市を実現しましょう。

朝来市と福知山市をSNSで勝手に姉妹都市に

死ぬまでに一度は宇宙を旅してみたい!! 今は費用が高くても、そう速くないうちに、海外旅行くらいの気楽な値段で行けるようになるかも? もちろん、「地球は青かった」という名ゼリフを言ってみてください。

宇宙旅行



神崎悠哉



谷内雅範



神崎悠哉



飛田一



野々村俊

あなたの
夢や目標を
お書きください!

名前 _____

題名

Visit 100 か国行く

せっかくこの世界に生まれたなら、なるべくたくさんこの世界に触れてから死にたい。市場の熟れた果実の匂い、アザーンが響く夕闇の街、密教寺院に灯るバター蠟燭、空と海の青、藍、碧、そしてそこに暮らす人々…画面上からは伝わらない温度と体温を求めて、また次の行き先を探します。

福祉業界で働くことの敷居を低くし、人が集まりやすい環境にしていきたい!! 効率的なお金の循環(平均所得UP→職員モチベーションUP & 税収UP→福祉サービス&福祉環境の充実)を作って福祉業界を活性化したいです。

福祉業界の活性化

年齢や常識、他の人の目に捕らわれない生き方、考え方を持つ人との出会い、「それもアリかも」と思った瞬間、自分の可能性は広がっています。自分がこれまでそうだったように、自分も誰かに「それもアリかも」と思わせたいし、その相互作用はいずれ、世界を面白い方向に変えていきます。

自分と会った人の可能性と価値観を広げる

夜久野には豊かな自然と恵まれた環境で育った元気で美味しいお米や野菜などの作物があります。東京に35年住んでいましたが、こんなに美味しい食材を食べたことはなかったです。夜久野から東京にこの美味しい食材と自然を売り込んで行く、そして福知山からの発信へと広げていく。地元で感じる以上に本当に美味しいし自信を持って発信を!

夜久野発東京浸透

操法大会はきつい。ほぼ毎日練習で、指導はめちゃくちゃ厳しい。でも、大会の後でみんなで飲んだ酒はうまかった。消防団はみんなそれぞれに仕事があって、しかもボランティア。それでも本気になれるって、すごい。一番高みを見てみたい。全国への道は、甲子園よりも遠いかもしれんけど。

全国操法大会

フクユメHistory (Since2018.02～)

第1回 ゲストスピーカー 倉寿和さん

・フクユメ実行委員会代表としてフクユメを立ち上げた経緯などアツイ場をつくる

第2回 ゲストスピーカー 霜澤真さん

・和太鼓奏者として活動する霜澤さんは5つの夢を語る

第3回 ゲストスピーカー 酒井陽平さん なゝ姫さん

・「なぜ2人は和服を着るのか」から始まり、新たな「和服」の一面を発信する

第4回 ゲストスピーカー 森下友里加さん

・福知山で生まれ育ち、夢は「ドッコイセ=福知山人の誇り」になること

第5回 ゲストスピーカー 庄田健助さん 中嶋阿児さん

・「中心市街地と里山のまちづくり」をテーマに夢への学びを深める

第6回 ゲストスピーカー 川上晃弘さん

・「WORK=LIFE 人生無駄なことなんて何もない」をテーマに



第7回 ゲストスピーカー 足立聖忠さん

・夜の観光として盛り上げる「福知山イル未来と2018」を考えたときのお話。

第8回 ゲストスピーカー 塩見直紀さん

・人や地域が持っている【X(魅力や可能性)】の見える化について取り組み。

第9回 ゲストスピーカー 今川淳史さん

・「イベントの主催だけでなく、まずはイベントに参加するという形で地域に関わる職員が増えてほしい」

第10回 ゲストスピーカー 浅井ゆうみさん

・夢は「一次産業プロデューサー」になること！日々の感じる疑問について。

第11回 ゲストスピーカー 中島広貴さん

・京都工芸繊維大学福知山キャンパスに通う。自分自身の役割を率直に語りました。

第12回 ゲストスピーカー 森田賢さん

・「幸せとは何か」。身近な方たちを笑顔にしたい！という想い。